

授業開講年度	2026	開講キャンパス	さくら夙川キャンパス
開講学期	春学期	開講曜日・時限	集中講義
科目コード	ZH0245	授業コード	40418
レベルナンバー	200	配当年次	1
授業科目名	イメージと物語（オンデマンド型／月曜日配信）		
担当教員名【代表】	大島 浩英		
担当教員名			
授業形態	講義		
授業方法	メディア授業（オンデマンド）		
単位数	2.0		
ディプロマポイント評価観点（※本科目がどの項目に該当しているかを示す）			
Knowing			
(知識とリテラシー)	教養と専門知識【DP1】	○	知識・情報を活用する力【DP2】
Doing			
(実践力)	国際感覚【DP3】		対人基礎力【DP4】
	対自己基礎力【DP5】		対課題基礎力【DP6】
Being			
(信念と志)	豊かな人間性と肯定的自己概念【DP7】		社会的責任【DP8】
授業の目的	この授業では、ヨーロッパ古代神話の神々やグリム童話の物語を手掛かりにして、そこに描かれた登場人物やその時代背景、生活、社会について考える。そしてそれらの基礎を成している古代信仰やキリスト教などの影響を調べながら、ヨーロッパ社会における人間が織り成す物語を考察する。		
到達目標	ヨーロッパ社会の基礎となるキリスト教とそれ以前の古代信仰との関連を知り、両者の衝突から生み出された「魔女」を題材とした物語を理解する。 キーワード、要点を論理的に整理する能力、そしてそれを文章化する能力を身につける。さらに授業で扱ったポイントと関連する書籍を読み独自に発展的学習を行い、自分なりの意見、考えをまとめ、それを表現する能力を身につける。		
授業概要	授業実施方法：非対面（資料提示型オンデマンド方式）月曜日配信 この授業ではヨーロッパの生活、特に時代をさかのぼって中世ヨーロッパの暮らしが描かれたグリムの童話（昔話）を題材に取り上げる。この童話集には様々な立場の人々が登場するが、本講義では「魔女」と呼ばれる登場人物に焦点を当てて考察し、この存在が当時のヨーロッパ社会の中でどのように位置付けられ、また「魔女」をめぐるどのような物語が生み出されたのかを探る。		
課題レポート等	授業内容を自分のことばでまとめ、自分なりの考えを整理した文書の作成。		
フィードバックの方法について	授業中の講評と解説		
授業時間外学習	各回の授業終了後に内容を再確認し、取り上げたテーマ、用語に関する基礎知識を各自の必要に応じて補い、重要ポイント、興味を引かれた点などは独自に調べて理解を深め、知識を整理した上で次回の講義を受講すること。		
授業回数	主題	概要	授業時間外学習(学習内容・時間)
01	魔女のイメージ(1)	グリム童話で描かれた魔女とは？	各要点の関係や話の流れを自分なりにまとめ、それを文章化する練習を行い、次回授業に備える。1日約30分を目安に、次週まで毎日少しずつ学習を進めてください。
02	魔女のイメージ(2)	伝説の魔女	同 上
03	古代ヨーロッパの信仰とキリスト教	サンタ・クロースとお供の悪魔との関係	同 上
04	グリムのメルヒェンと信仰	メルヒェン（童話、昔話）に現れる神秘的なものについて	同 上
05	グリム童話は恐ろしい？	グリム童話の描写と残酷性	同 上
06	魔女のイメージ(3)	伝説の魔女たちの夜祭りと空飛ぶ魔女	同 上

07	祭りとおルギア(1)	古代～中世ヨーロッパにおける祭りの意味	同 上
08	祭りとおルギア(2)	南欧と北欧の祭り	同 上
09	キリスト教の発生	ユダヤ教からキリスト教へ	同 上
10	聖書物語の世界(1)	黙示録と終末思想	同 上
11	聖書物語の世界(2)	地獄の主・悪魔のルーツ	同 上
12	聖書物語の世界(3)	旧約聖書の悪魔と女性	同 上
13	旧約聖書とグリム童話(1)	「白雪姫」に見る魔女	同 上
14	旧約聖書とグリム童話(2)	魔女と罪	同 上
15	まとめ	今学期に学んだ授業内容の総復習	これまでの講義内容を自分なりに整理し、論理的に説明、論述する練習を行う。
成績評価の基準と方法		まとめテスト 60%、平常点 40%。これらの総合点を 100 点満点として、90 から 100 点が A、80 から 89 点が B、70 から 79 点が C、60 から 69 点が D で、ここまでが合格。59 点以下は F (不合格)。	
教科書		パワーポイントのファイル等により提示	
参考図書		授業中に適宜紹介	
授業に関する質問等の方法		初回授業で担当教員に確認をしてください。	
備考		授業の計画は授業の進行度により変更する場合がある。 履修希望者多数の際、抽選を行う場合がある。	
短大同時開講使用欄			